



# 問

令和6年2月21日、  
22日、26日に開会した  
本会議で代表・一般質問を  
行いました。

## 代表・一般質問

議案の審議に先立ち、  
区政全般について、各  
会派を代表して7名の  
議員が代表質問を、各  
会派及び無会派の6名  
の議員が一般質問を行  
いました。  
以下、その要旨を掲  
載します。  
なお、2次元バーコー  
ドから各質問者の録画  
映像をご覧になれます。

## 足立区議会公明党

### 希望溢れる「安心と活力の あだち」の実現に向けて!

公明党 たがた直昭 議員



#### 区民の負担を解消し安心と活力を

【問】コロナ禍で加速した地域  
コミュニティの希薄化等、急速  
な社会の変化や物価高騰への対  
応は容易ではない。区はこれら  
の課題解決に向けて、どの様に  
乗り越えて区民の「安心と活力  
のあだち」を実現させるのか。

【政策経営】職員一人ひとりが  
これまで以上にアンテナを張り  
巡らせ、真に必要な施策を見極  
めていくことが大切だと考える。  
加えて、施策の効果を最大限  
引き出すために、組織横断によ  
る柔軟かつ機動的な連携のもと  
重層的に施策を展開することで  
課題解決に取り組み、「安心と  
活力のあだち」の実現を目指す。

#### 災害対策のより一層の推進を

【問】能登半島地震の教訓を生  
かし、自然災害に強いまちづく  
りに取り組むべきだが、区長は  
どの様に進めていくのか。

【区長】能登半島でも早期に食  
料不足が発生したこと、備  
蓄内容の精査や保管場所の確保  
倉庫業のノウハウを取り入れた  
倉庫体制の構築が必要と考える。

また、震災時は職員が避難所  
へ向かうことが困難であるため  
地域で実践に即した避難所運営  
訓練を実施する際に職員も関わ  
り、地域での備えを進めていく。  
【問】旧鹿浜西小学校跡地に建

例に対し、組織・分野横断的に  
対応する仕組みの構築と考える。



#### ニーズに沿った交通網整備に向けて

【問】区は令和6年度から、入  
谷・鹿浜地区で予約制のデマン  
ドタクシーの実証実験を行うが、  
協力事業者の見込みや利用状況  
の見極めをどのように行うのか。  
また、可能な限り幅広く地域  
のニーズに応じていくべきと考  
えるが併せて伺う。

#### 新たな支援体制創設のねらいは

【問】重層的支援体制の整備に  
取り組むために「くらしとしご  
との相談センター」を再編し、  
「福祉まるごと相談課」を創設  
するとしているが、これまでと  
大きく変わる点は何か。

【福祉】1点目は誰でも・何で  
も気軽に相談できる分りやすい  
相談窓口となること、2点目  
は単独の所管では対応困難な事

### 子どもの貧困対策と足立区 の公共交通施策について

公明党 大竹 やよい 議員



#### 顔と顔が見える支援の充実を

【問】子どもの貧困問題は外か  
ら見えにくいいため、ポピュラー  
シニアアプローチが重要である。  
現行事業の有効性を整理し、  
アウトリーチによる効果的な支  
援に取り組むべきではないか。  
また、子育て相談に対応でき

また、子育て支援団体や当事  
者等の意見を聴き、効果的な子  
育て支援策や人材確保・育成も  
併せて検討していく。



#### 地域交通導入へ厚いサポートを

【問】(仮称)足立区地域内交  
通導入サポート制度では、計画  
策定から運行が実現するまで、  
区による丁寧なサポートを行う

### 足立区国土強靱化と災害対 策機能を備えた学校の整備

公明党 石毛 かずあき 議員



#### 自助・共助の推進で防災力強化を

【問】国は、地域における防災  
力の強化を図るため、ハザード  
マップを活用した災害履歴の記  
録、災害履歴に基づくタイムラ  
インの作成等を推奨しており、  
区も検討すべきではないか。

また、震災対策の意識が向上  
している今こそ、区民への防災  
意識の啓発や子どもたちへの防  
災教育の推進が重要と考えるが、  
どの様に進めていくのか伺う。

【危機管理】今後、道路等の公  
共施設に係る震災の被害状況や  
水害による浸水履歴等を記録と  
して残し、区民への意識啓発や  
災害対策に活用していく。  
また、水害リスクが高い荒川  
沿川地域を優先して、荒川氾濫  
を想定したタイムライン策定の

と共に、専門家を派遣し地域に  
合った計画策定の支援をすべき  
ではないか。併せて、地域包括  
支援センター等の協力を得なが  
ら、福祉的な視点も反映できる  
ようにすべきではないか。

【都市建設】制度の認知が進み、  
活用を希望する地域が増えてき  
た段階で、地域特性に応じた運  
行計画や需要予測等が可能とな  
るよう専門家による支援を検討  
していく。高齢者等の交通弱者  
の利用が主となると想定される  
ことから、近隣の地域包括支援  
センター等の協力を得ながら、  
利用しやすく継続性のある交通  
手段となるよう支援していく。

## 足立区議会自由民主党

### 安心して住み続けられる 足立区に

自由民主党 伊藤 のぶゆき 議員



#### 世情に応じた柔軟な予算措置を

【問】令和6年度一般会計予算  
は、震災対策の強化や区民の移  
動手段確保のための経費等、区  
民の安心と活力を確保するため  
に必要な予算編成となっている。  
一方で、社会状況は一刻一刻と  
変化しており、当初予算で計上  
できなかった各種対策について

【政策経営】今後も社会状況の  
変化を迅速に把握し、防災・減  
災に限らず、必要な対策のため  
の補正予算計上について、臨機  
応変に対応していく。  
【問】旧子ども家庭支援センター

ているこの機を捉えて、家庭内  
備蓄の啓発に努めていくと共に  
防災教育についても、足立区総  
合防災行政アドバイザーによる  
防災講義等の実施を区内の学校  
に広めていきたい。



#### 災害対策につながる学校改築を

【問】宮城小学校改築に向けた  
設計では、小台・宮城地区の地  
域特性を踏まえた災害対策の視  
点を取り入れるべきではないか。

【学校運営】令和6年度中の事  
業者選定を目指し準備を進めて  
いる。水害時の想定最大浸水深  
が5mを超える当該地区の地域  
特性を踏まえた災害対策機能に  
ついての提案も、公募要件に取  
り入れていく予定である。

# 代表・一般質問(要旨)

# 区政を



本会議の録画映像を  
区議会ホームページでご覧いただけます。  
<https://www.gikai-adachi.jp>

跡地は令和11年度の施設開設を予定していたが、東洲江小学校の仮設校舎建設に係る入札不調や今後も入札の見通しが立たないことから、東洲江中学校に引き続き東洲江小学校仮設校舎としての使用を検討している。本件は、学校関係保護者よりも綾瀬地域への説明が後になったことにより、綾瀬地域の区に対する不信感が募り混乱を招いた。学校建て替え事業において同様のことを繰り返さないために、どのように取り組むのか伺う。

【教育長】 今回のことを反省し、今後は丁寧かつ迅速に地域へ説明を行っていく。民間専門機関の技術支援による発注方法の見直しや仮設校舎を利用しない新校舎建設等、学校敷地の条件等も考慮しながら取り組んでいく。

### 区民の命を守りぬく備蓄を!

【問】 能登半島地震を受けて、区はいち早く食料と水を3日分まで備蓄すると方針を示したが、食料の種類や日用品について、改めて検討すべきではないか。

【危機管理】 アルファ化米とクラッカーに加え、水が不要なレトルト食品の備蓄割合増を検討する。避難所生活に不可欠な日用品やブルーシート等、災害時に必要性が高い品目は増量を検討し、口腔衛生ケア物品等、新

### まだまだ続く

### 「足立元気計画!!」

### 自由民主党

吉岡

茂 議員



【問】 環七北通りの六町加平橋から横断歩道のある補助第140号

線との交差点までは距離が遠く、高齢者は苦勞しており、その中間地点付近を横断する者もいる。



### 現状を踏まえた整備方針改定を

【問】 令和6年度に特別養護老人ホーム整備方針を改定予定だが、介護従事者が不足している現状を踏まえ、どのような視点で見直しを行うのか見解を伺う。

【福祉】 高齢者人口推計や多床室のニーズ、ユニット型個室の空き状況を踏まえた施設整備、安定的に施設運営が行えるような介護人材の確保、施設の老朽化に伴う建て替え等、新たな課題を踏まえ見直しを行っていく。

### 情報モラル教育で子どもを守れ

【問】 インターネットを利用する際のルールやマナー、人権への配慮、危険性等について、全児童・生徒を対象に情報モラル教育をすべきと考えるがどうか。

【教育指導】 学級活動や長期休業日中の指導等の際には、情報モラルについてのリスクのみならず、ルールやマナー、危険性等、情報を活用していく方法について学習している。

そこで地域はアンケート調査を行い、その結果を受けて信号機の設置を要望することになった。

今年1月に開催された区、都、綾瀬警察署、町会による話し合いの場でも出た意見の内容を伺う。

【都市建設】 町会から信号機設置等の要望があった交差点に、歩行者及び自転車通行できる横断歩道と歩行者用信号機の設置が綾瀬警察署から提案された。しかし、町会からは自動車も通行できる交差点にしてほしいという意見があり、引き続き検討していくことになった。

### 住民主体の交通手段に区の支援を

【問】 葛飾区では、交通空白地域において地域の有志によるグリーンスローモビリティの実証運行が行われている。足立区も交通空白地域におい

### 共助できる関係作りで災害に負けない強靱な足立区へ

### 自由民主党

くじらい

実 議員



て、地域の有志がリーダーシップを取り近隣町会と連携し、グリーンスローモビリティの導入に向けて動き出した場合、区はそれに理解を示し、何らかの協力をする考えがあるのか伺う。

### 災害に強い強靱な区を目指して

【問】 区は、区民の生命と財産を守るために、災害に強いまちづくりを進めていく必要がある。区の建築物耐震化促進事業によつて、この1年間で耐震化率は向上したのか。見えてきた課題や今後に向けた対策と併せて区の見解を伺う。

### 【建築】 耐震診断、耐震改修工事等の申請が年間目標の400件に近づいていることから、自然更新も含め、住宅の耐震化率は着実に向上している。

しかし、高齢者等からは「地震が起きて自分は大丈夫だ」



【問】 災害時や緊急時において助け合えることが町会・自治

会に加入する最大のメリットであることを、外国人等にも積極的に示すべきである。今後は、一部地域で実施している外国人との交流の場も広めていき、足立区版共生社会の実現に向けて、地域住民と外国人との相互理解も深めていくべきではないか。

### 日本共産党足立区議団

### 介護保険の値上げストップ 若者が活躍できる足立区へ

### 日本共産党

はたの 昭彦 議員



### 地域住民の声を反映した開発を

【問】 区は、旧こども家庭支援センター跡地にある東洲江中学校仮設校舎を、引き続き東洲江小学校の建て替えのために活用すると決定した。

①地域に説明の無い仮設校舎利用の決定により、地域を混乱させた区の責任は重く、一度立ち止まり、あり方を見直すべきではないか。

②区は、当該跡地計画を11年も遅らせた責任をどう考えるのか。

【教育長】 ①仮設校舎利用について一度立ち止まり、庁内横断プロジェクトチームを立ち上げ、総合的に検討し方針決定した。引き続き地域との情報共有を図り、丁寧に進めていく。

【総務】 ②今後は綾瀬地域と十分に意見交換を行いながら、誰もが利用しやすい施設になるようスピード感を持って対応する。

【問】 高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画中間報告のパブリックコメントでは、介

【地域】 令和5年9月に区内団地において、ウクライナ避難民を対象とした地域交流会が開催され、活発なコミュニケーションが図られていた。このような好事例を参考に、外国人との交流会開催を促し、多文化共生社会の実現を目指していく。

介護保険料の値上げに批判的な意見が多く見られた。これらの切実な声に応え、値上げはすべきではないと思うがどうか。

【福祉】 第3回地域保健福祉推進協議会において、次期介護保険料基準額を現行の月額より10円引き下げとする答申があったことを厳粛に受け止め、条例改正案を提案していく。

### 子どもの社会参加を支援せよ

【問】 こども基本法等では、子ども・若者を社会形成の主体として位置付けることが明確に定義された。区も同様に位置付け、子ども・若者の社会参加への支援に関して、庁内の垣根を越えて連携ができるよう施策を整理・体系化した「足立区子ども・若



者計画」を作るべきではないか。  
【未来】令和6年度策定予定の「足立区こども計画」の中で若

### 区民のいのちを守りぬく、本気の災害対策を!!

日本共産党 小林 ともよ 議員

【問】避難所で発生する性犯罪の防止策として、寝る場所は「男性」「女性」「家族」のようにスペースに仕切りを設けることが必要だと思いませんか。

【危機管理】水害時は、先に避難した人を順番に上階層から案内することや、多数の避難者が来るのが想定されるため、現場でルーラ化して振り分けることは困難であると考えます。

また、震災時は物資の受け渡しの都合上、体育館スペースに可能な限り町会・自治会単位で振り分けることとなっているが、仕切り方については今後検討を行っていく。

一人ひとりにあった避難計画を

【問】医療的ケア児を含む要支援者の個別避難について、別府市と同様に当事者と地域の支援者が、個々のケースに応じて避難方針を話し合える関係者会議を設けていくべきではないか。

また、水害・震災時の個別避難計画は、地域コミュニティで避難できるような計画にしておく必要があると思うがどうか。

【福祉】避難支援を話し合うためには、事前に要支援者の知的能力や介護等の身体状況・家族構成等の個人情報の提供が必要である。平常時の避難支援の実

者を社会形成の主体として位置付け、庁内の垣根を越えた連携を図り、施策を体系化していく。



施に必要な情報の提供は法律上できないため、会議を設ける考えはないが、本人から情報提供

### 日本維新の会足立区議団

ガバナンスを強化し、区政への信頼を高めよ

日本維新の会 富田けんたろう 議員

【問】区のあらゆる組織において、個人情報漏洩等の重大事案が頻発している。ダブルチェック等、個人情報保護におけるルー

ルの徹底がされていないのではないかと危惧しているが、区長の見解を伺う。

【区長】ルーラの徹底がされていないという認識である。指導力不足であり、この状況をどのように打開すべきか検討しなくてはならず、非常に大きな問題であると考えている。

【問】事故・ミス事案に関して責任の所在が不明確であり、処分が適切に行われていないのではないかと考える。再発防止策が形骸化している可能性も推察され、結果として職員間での緊張感の希薄化に繋がっているのではないかと考えるが、区長の

の同意を得た場合は、町会・自治会へつなげ、地域コミュニティで避難できるような計画を作成していく。



### 日本維新の会足立区議団



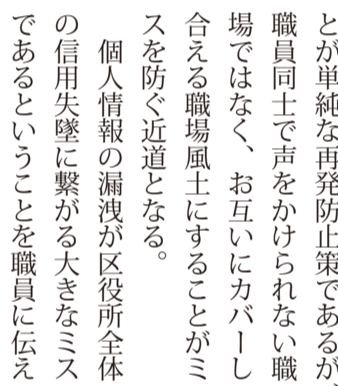
【区長】事故・ミス事案に関する処分については、第三者の見解を伺う。

【問】現在の区財政は堅調であるものの、物価・人件費高騰による影響や大規模災害への備え、公共施設の更新等もあり、堅実な財政運営が求められている。その中で災害や事故等から区民の命を守り、区民生活や区内事業者を支える分野においては、今後継続して重点的に予算配

置すべきと考えるが、区長の見解を伺う。

【区長】指摘のとおり予算配

護士が関係者にヒアリング等を行い、責任の所在を明確にした上で必要な処分を行っている。複数の職員でチェックを行うことが単純な再発防止策であるが、職員同士で声をかけられない職場ではなく、お互いにカバーし合える職場風土にすることがミスを防ぐ近道となる。



### 足立区議会立憲民主党



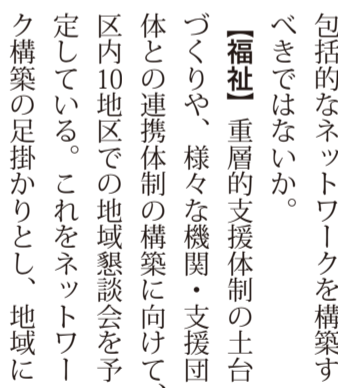
【問】区は、福祉的なあらゆる相談・困りごとを受け止める「福祉まるごと相談課」を令和6年度より設置する。重層的支援体制の整備に向け、組織・分野横断的な連携強化のための職員研

修 平 議員

【問】区は、福祉的なあらゆる相談・困りごとを受け止める「福祉まるごと相談課」を令和6年度より設置する。重層的支援体制の整備に向け、組織・分野横断的な連携強化のための職員研

【問】第9期介護保険事業計画

修を実施する予定であるが、関係機関等にて体験研修やヒアリングを行い、担当者同士が顔の見える関係を構築して、官民の包括的なネットワークを構築すべきではないか。



### 足立区議会改革を全力で推し進める会

高い介護保険は値下げを！千住地域の水害対策を前へ

議会改革推進 土屋 のりこ 議員

【問】昨年末に区内で出産した人たちから「現在実施されている区の相談事業は敷居が高く相談がしづらい」「おむつ宅配のように定期的に支援員が訪問し、区民同士が助け合える制度があれば良い」等、子育て相談の敷居の高さについて指摘があった。区は、このような声をどう受け止め、改善していくのか。

【未来】より効果的で気軽に相談できる支援策を検討していく。

【問】子ども支援センターげんきの教育相談は、いじめや不登校等、保護者の様々な悩みを相談できる場であるが、面談可能日が1〜2カ月先となっている。早期に対応すれば改善の可能性が高い相談ケースも一律で待たされている状態であるため、相談員を増員する等、改善を図るべきと考えるがどうか。

【げんき】中学3年生の不登校や進路の相談等、緊急性のある

おける課題や困りごとを直接聴くことで包括的相談支援のニーズを把握すると同時にネットワークの構築や充実にも努めていく。



### 都民ファーストの会足立区議団



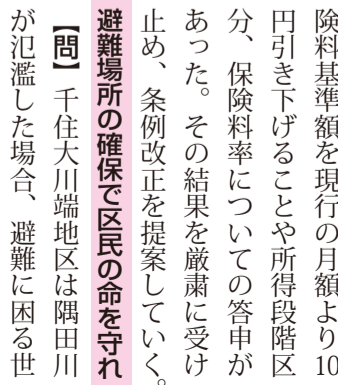
【問】子ども支援センターげんきの教育相談は、いじめや不登校等、保護者の様々な悩みを相談できる場であるが、面談可能日が1〜2カ月先となっている。早期に対応すれば改善の可能性が高い相談ケースも一律で待たされている状態であるため、相談員を増員する等、改善を図るべきと考えるがどうか。

【問】区は、認知症の人が行方

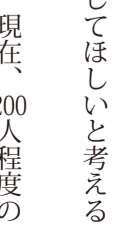
【問】区は、認知症の人が行方

【問】区は、認知症の人が行方

上げではなく引き下げるべきかどうか。



### 都民ファーストの会足立区議団



【問】千住大川端地区は隅田川が氾濫した場合、避難に困る世帯が多く発生する。開発予定の高層マンションが水害時の垂直避難場所となるよう、事業者と協定を締結してほしいと考えるがどうか。

【都市建設】現在、200人程度の受け入れが可能な垂直避難場所の確保を事業者へ要請しており、今後は協定を締結する方向で関係所管と調整を進めていく。

【問】子ども支援センターげんきの教育相談は、いじめや不登校等、保護者の様々な悩みを相談できる場であるが、面談可能日が1〜2カ月先となっている。早期に対応すれば改善の可能性が高い相談ケースも一律で待たされている状態であるため、相談員を増員する等、改善を図るべきと考えるがどうか。

【問】区は、認知症の人が行方



子どもと地域商店のつながりを

【問】 母校の東加平小学校の近所にあるラーメン店では地域への恩返しとして、卒業生全員に「卒業記念特製ラーメン」を無料でプレゼントしている。このような企画が他の小・中学校にも広がるよう、区が積極的に取り組むべきと考えるがどうか。

【教育指導】 このような情報を得た場合は、ホームページへの掲載やプレスリリースの実施、公社ニューストキメキへの掲載や関連団体への周知等で情報を発信し、支援する会社や商店を増やすことにもつなげていく。

無 会 派

子どもたちの笑顔を創ろう

へんみ 圭 二 議員

無 会 派

不明になった場合、地域包括支援センターや警察と連携しながら対応している。より早く発見するために、都の認知症地域支援ネットワーク事業を活用する等、区独自の認知症高齢者早期発見のネットワークを構築すべきと考えるがどうか。

【福祉】 現在、ICT機器を活用した介護予防・認知症事業の再構築に着手しており、その中



で、情報伝達の仕組みや都の認知症地域支援ネットワーク事業の活用についても検討していく。

【総務】 新たな図書館を整備する考えは無いが、様々な目的で誰もが利用しやすく、新たなコミュニティの場となるよう、今後、他事例の調査や事業者にヒアリングを行いながら、地域住民の長年の願いに応えるべく、充実した施設を目指していく。

第1回定例会での議決結果

区長提出議案

可決したもの

令和6年度予算・補正予算

- ◇ 令和6年度足立区一般会計予算
- ◇ 令和6年度足立区国民健康保険特別会計予算
- ◇ 令和6年度足立区介護保険特別会計予算

令和5年度補正予算

- ◇ 令和5年度足立区一般会計補正予算(第1号)
- ◇ 令和5年度足立区一般会計補正予算(第9号)
- ◇ 令和5年度足立区介護保険特別会計補正予算(第3号)

令和5年度補正予算

- ◇ 令和5年度足立区一般会計補正予算(第9号)
  - 補正額 △58億1千524万1千円
  - 予算総額 3千350億2千948万7千円
- ◇ 令和5年度足立区介護保険特別会計補正予算(第3号)
  - 補正額 △8億6千999万3千円
  - 予算総額 690億2千522万1千円
- ◇ 令和5年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
  - 補正額 △7億7千10万8千円
  - 予算総額 722億9千736万8千円
- ◇ 令和5年度足立区後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
  - 補正額 △4億882万4千円

条例

- ◇ 予算総額 176億8千809万3千円
- ◇ 令和5年度足立区一般会計補正予算(第10号)
  - 補正額 1億5千195万3千円
  - 予算総額 3千351億8千144万円
- ◇ 足立区組織条例の一部を改正する条例
  - 組織改正に伴い、部の分掌事務を改めるもの
- ◇ 足立区職員定数条例の一部を改正する条例
  - 職員の定数を改めるもの
- ◇ 足立区事務手数料条例の一部を改正する条例
  - 戸籍法等の改正に伴い、規定を整備するもの
- ◇ 足立区立図書館条例の一部を改正する条例
  - 足立区立図書館協議会を教育委員会の附属機関として設置するほか、規定を整備するもの
- ◇ 足立区経済活性化基本条例の一部を改正する条例
  - 足立区経済活性化会議の委員に区議会議員を加えるもの
- ◇ 足立区障がい者福祉手当条例の一部を改正する条例
  - 手当を支給する対象者を拡大するほか、規定を整備するもの
- ◇ 足立区住宅・建築物耐震助成条例の一部を改正する条例
  - 複数年度にわたって行う耐震工事等につき複数回の助成金を交付できることとするほか、規定を整備するもの
- ◇ 足立区教育ICT環境整備資金積立基金条例
  - 足立区教育ICT環境整備資金積立基金を設置するほか、規定を整備するもの
- ◇ 規定を整備するもの
- ◇ 区長の権限に属する事務の委任等に関する条例の一部を改正する条例
  - 放課後児童健全育成事業に関する事務を足立区教育委員会に委任するもの
- ◇ 足立区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
  - 議員報酬及び期末手当の額を改定するほか、規定を整備するもの
- ◇ 足立区防犯減災対策整備基金条例の一部を改正する条例
  - 基金の名称を変更し、設置目的を拡充するもの
- ◇ 足立区住区センター条例の一部を改正する条例
  - 以上、2議案はいずれも学童保育室の事務を足立区教育委員会に委任することに伴い、規定を整備するもの
- ◇ 足立区放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
  - 放課後児童健全育成事業の事務を足立区教育委員会に委任することに伴い、規定を整備するもの
- ◇ 足立区児童発達支援センター条例の一部を改正する条例
  - 児童発達支援センターの開設に係る補助金交付の事務を足立区教育委員会に委任することに伴い、規定を整備するもの
- ◇ 足立区立小学校、中学校等の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例
  - 公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償の基準を定める政令の改正に伴うもののほか、規定を整備するもの
- ◇ 足立区介護保険条例の一部を改正する条例
  - 介護保険料率を改定するほか、規定を整備するもの
- ◇ 足立区立公園条例の一部を改正する条例
  - 上沼田東公園の公園施設である野球場の使用料について、規定を整備するもの
- ◇ 足立区長等の給料の特例に関する条例
  - 区長及び第一副区長の給料月額を減額するもの
- ◇ 足立区特別区税条例の一部を改正する条例
  - 地方税法の改正に伴い、規定を整備するもの
- ◇ 足立区国民健康保険条例の一部を改正する条例
  - 国民健康保険法等の改正に係るもののほか、規定を整備するもの
- ◇ 足立区国民健康保険条例の一部を改正する条例
  - (日本共産党足立区議団より反対討論あり)

その他の議案

- ◇ (仮称)区営新田三丁目アパート改築工事請負契約の変更について
  - 変更前 8億8千万円
  - 変更後 10億6千73万円
  - 相手方 似鳥・小倉建設共同企業体
- ◇ 東京都後期高齢者医療広域連合の規約変更について
  - 後期高齢者医療の保険料軽減に係る経費を各区市町村が支弁するために、規約の一部を変更するもの

特別区道路線の認定について

所在地	幅員(m)	延長(m)	面積(m <sup>2</sup> )
綾瀬四丁目・西綾瀬四丁目地内	2.96~5.06	222.79	892.78
梅田八丁目地内	①12.00~12.01 ②4.00	①81.25 ②10.83	①992.10 ②45.24
江北四丁目地内	①5.00~6.10 ②5.00~6.05	①155.19 ②54.74	①788.10 ②281.69
神明三丁目地内	6.00	85.99	520.97
竹の塚七丁目地内	4.50~16.26	427.24	2,813.28
西新井栄町一丁目・二丁目地内	-	-	5,468.34

- ◇ (仮称)江北健康づくりセンター新築工事請負契約の変更について
  - 変更前 23億6千329万5千円
  - 変更後 29億5千941万8千円
  - 相手方 武家田・浅香建設共同企業体
- ◇ (仮称)江北健康づくりセンター新築電気設備工事請負契約の変更について
  - 変更前 7億2千600万円
  - 変更後 8億9千890万9千円
  - 相手方 雄光・拓電建設共同企業体
- ◇ 学校ICT機器・教員用Chromebook等の購入(R5債務)について
  - 契約方法 公募型指名競争入札
  - 契約金額 6億2千359万円
  - 相手方 東日本電信電話株式会社 東京事業部
- ◇ 指導書の購入について
  - 契約方法 特命随意契約
  - 契約金額 2億3千995万5千870円

相手方 東京都東部教科書供

給株式会社

◇足立区営住宅等維持管理業務委託について

契約方法 特命随意契約

契約金額 3億5千566万

相手方 株式会社東急コミュニティー

◇足立区立子育てサロン西新井の指定管理者の指定について

子育てサロン西新井の指定管理者を指定するもの

◇六月中学校全体保全計画にかかる内装改修その他工事(二期)請負契約

契約方法 条件付一般競争入札

契約金額 2億1千450万円

相手方 小倉建設株式会社

報告

◇議決を得た契約の変更について

(仮称) 区営新田三丁目アパート改築機械設備工事請負契約

◇損害賠償額の決定について

島靴屋公園の樹蓋の突起による受傷事故に対する損害賠償額を決定するもの

◇議決を得た契約の変更について

上沼田東公園改修整備工事請負契約

ほか3件

議員提出議案

可決したもの

いづれも、令和6年3月27日に議決し、関係機関に提出しました。以下要旨です。

◇学校のICT環境整備の持続的・継続的な推進と十分な財

政措置を求める意見書

国会及び政府に対し、自治体が学校のICT環境整備を持続的・継続的に進められるよう、下記の事項について取り組むことを強く求める。

1 地域の实情に即した制度の見直しや後年度負担も含めた補助対象等の拡充を図り、導入したときのタブレット型端末に係る更新経費やランニングコストなど、十分な財政措置を講ずること。

(衆参両院議長、内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣 ほか あて)

◇認知症との共生社会の実現を求める意見書

国会及び政府に対し、認知症との共生社会の実現のため下記の事項について取り組むことを強く求める。

1 省庁横断的かつ総合的な取り組みを推進すること。

2 自治体に対し、専門人材の派遣等の支援や、必要予算措置を検討すること。

3 共生社会の実現を推進し、認知症の人が施策に参画できる体制を検討すること。

4 認知症の人の就労を支える体制や、事業者も含めた社会環境を整備すること。

5 小規模多機能型居宅介護サービス事業を拡充すること。

6 成年後見制度等の在り方を検討し、住居確保への支援体制を整備すること。

7 認知症発症予防や、容態に応じた相談先等について学べる環境を整備すること。

(衆参両院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣 ほか あて)

被災者生活再建支援制度の拡充を求める意見書

国会及び政府に対し、被災者の生活の安定と被災地の速やかな復興を進めるため、下記の事項について取り組むことを強く求める。

1 住宅の再建や補修等の費用を賄えるよう、被災者生活再建支援金の支給額を引き上げること。

2 制度の対象となる被災世帯を拡充すること。

3 被災自治体の財政負担が重くならないよう、例えば地方交付税交付金で地方負担を補填すること。

(衆参両院議長、内閣総理大臣、総務大臣、内閣府特命担当大臣(防災 海洋政策) ほか あて)

否決したもの

◇足立区生きがい奨励金支給に関する条例

高齢者が健康で充実した生活を送るために、生きがい奨励金を支給するもの

◇足立区育英資金条例の一部を改正する条例

奨学金返済により経済的困難な状況である者も奨学金返済支援対象とするもの

(以上、2議案について日本共産党足立区議団より否決に反対の討論あり)

みなさんからの請願・陳情

採択したもの

◇省エネルギーフォーム補助金(トイレ助成)復活を求める陳情

教育委員会教育長並びに教育委員会委員の任命に同意

区長から任命同意が求められ、議会はこれに同意しました。教育委員会教育長 中村 明慶 教育委員会委員 土肥 和久

監査委員の選任に同意

区長から選任同意が求められ、議会はこれに同意しました。監査委員 寺口 正治

永年在職議員を表彰

足立区議会は、令和6年2月21日の本会議において、足立区議会議員として永年在職及び区政の伸展に貢献された功労に対し、左記の2名を表彰しました。

足立区議会表彰(在職25年)



岡 茂 議員



渡辺 ひであき 議員

当選7回、第67代足立区議会議長、議会議長選出監査委員、議会運営委員会委員長、総務委員会委員長、厚生委員会委員長、文教委員会委員長、予算・決算特別委員会委員長等を歴任

議員活動におけるハラスメントに関する議員研修会を開催しました

令和6年1月31日に、全議員を対象とした議員活動におけるハラスメントに関する議員研修会を開催しました。今後も、議員一人ひとりがハラスメントに対する理解をより一層深めていきます。



令和6年第1回臨時議会

低所得世帯への臨時給付金支給事務等に対応するため、1月29日に令和6年第1回臨時議会を開会しました。

可決した区長提出議案

◇令和5年度足立区一般会計補正予算(第8号)

補正額 40億836万5千円

予算総額 3千408億4千472万8千円

報告

◇訴えの提起について

児童扶養手当等の未償還金及び遅延損害金並びに訴訟費用の支払いを請求するもの

◇損害賠償額の決定について

会計年度任用職員の通勤に係る費用弁償の額について、損害を与えたことに対する損害賠償額を決定するもの

ほか1件

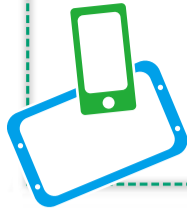
意見の分かれた議案(51件中12件)

その他の議案(39件)は全会一致で可決されました。

※自民…足立区議会自由民主党 公明…足立区議会公明党 共産…日本共産党足立区議団 維新…日本維新の会足立区議団 立民…足立区議会立憲民主党 改革…足立区議会改革を全力で推し進める会 都ファ…都民ファーストの会足立区議団 無派…無会派 ※〇…賛成 ×…反対

Table with columns for council members and rows for various proposals, showing voting results (賛成/反対).

# 特別の 予算委員会 討論(要旨)



令和6年予算特別委員会の映像は区議会ホームページでご覧いただけます。  
右の2次元バーコードからスマートフォン・タブレットでも視聴できます。



※令和6年10月に開会予定の決算特別委員会についても、YouTubeでインターネット  
生中継を行いますので、ぜひご覧ください。

※予算特別委員会の審査結果は8面に掲載しています。

## 足立区議会 公明党

討論者



石毛かずあき  
委員

区は、令和6年度予算を「命と暮らしを守りぬく。安心と活力のあだち」と名付け、新型コロナウイルス感染症の影響から日常を取り戻しつつある中で、依然と続く物価高騰等への対策、「福祉まるごと相談課」創設による包括的相談支援、「はるかぜ」の路線維持に向けた協働事業や新たな交通手段としてのデマンドタクシー実証実験等、区民生活を脅かす不安を取り除き、全ての区民が安心を実感し、区全体が活力あるまちなることを目指した予算編成を行った。

特に能登半島地震は、改めて災害への危機感を高めることとなり、災害備蓄の当初予定からの積み増しや、建築物耐震化促進事業の助成対象拡充等、「命を守りぬく」ための予算措置が行われた。

以前より我が党が要望していた、出産費助成事業、こども・高齢者支援、防災・防犯対策、自然災害や物価高騰の区民生活を脅かす不安を取り除く対策等、区全体が活力あるまちなることを目指しており、大いに評価する。

共産党提出の修正案は、中長期的な区政運営を考慮しておらず、到底賛成できない。最後に、今回の予算特別委員会では我が党の委員から指摘し要望した、防災・減災を含めた災害対策、女性の健康支援を含めた「すこやかプラザあだち」の機能強化と活用、高齢者サービスの向上と支援、介護予防対策の取り組み、介護職員への研修方法・資格取得の助成支援、伝統工芸・ものづくり産業への支援、町会・自治会への支援、学童保育室の入室を含めた医療的ケア児への支援、交通不便地域解消対策、ICTを活用した児童・生徒の学力向上の取り組み、教職員の負担軽減・ストレス対策の強化、HPVワクチン接種の更なる周知等、様々な提案にも真摯に対応するよう要望する。

## 足立区議会 自由民主党

討論者



かねだ 正  
委員

本年1月1日に発生した能登半島地震は、改めて災害への危機感を高めることとなった。区の防災・減災対策の強化・充実に注力していく必要がある、いざという時に区民生活を守り支えられるよう、大規模災害に備えた堅実な財政運営が求められる。

令和6年度予算は「命と暮らしを守りぬく。安心と活力のあだち」と名付け、自然災害や物価高騰等の区民生活を脅かす不安を取り除き、全ての区民が安心を実感し、区全体が活力あるまちなることを目指した予算となった。

災害備蓄の積み増しや、建築物耐震化促進事業の助成対象拡充等、「命を守りぬく」ための予算措置を直ちに行い、「福祉まるごと相談課」創設による包括的相談支援の開始、「はるかぜ」の路線維持に向けた協働事業及び新たな交通手段としてのデマンドタクシー実証実験等、区民に寄り添い暮らしを支えることを意識した予算となっており、一定の評価をするものである。

なお、我が党委員が指摘した、パブリックスペースの充実、六町駅前区有地活用事業の早期着工、足立区観光ガイドマップの作成、企業誘致の促進、子どもたちの英語学習・国際交流機会の充実、自治体間国際交流推進のための所管設置、「福祉まるごと相談課」の体制サポート、デマンドタクシー実証実験における周知徹底、インフラ整備、受援計画の推進、災害備蓄輸送拠点の検討、自衛隊員募集支援、刑法犯認知件数減少施策、糖尿病対策、町会・自治会活動支援等、様々な提案及び要望事項については、本予算の執行と今後の区政運営に確実に反映するよう強く要望する。

共産党から提出された修正案については、長期的で安定した区政運営を捉えたものではなく、到底賛成できるものではない。

## 足立区議会 日本共産党

討論者



小林 ともよ  
委員

一般会計予算案について、高齢者の紙おむつや補聴器購入補助の所得要件撤廃、生計困難者の介護保険利用料軽減等、我が党も繰り返し求めてきた施策の予算化は歓迎するが、積立額が全国でトップクラスの基金は貯めこみすぎであり、区民の暮らしに見合った積極的な活用こそ必要である。

昨年実施した運輸や福祉事業所、浴場等に対する支援策を直ちに実施すべきである。家庭内備蓄を支援せず、備蓄をお願いするだけという区の姿勢は、「区民の命を守りぬく姿勢」とは言えない。精神障害者についてはタクシー券を出さず、運賃軽減サービスを求めることさえ拒否する矛盾かつ冷たい姿勢である。公共交通バスや「はるかぜ」等の減便・廃線が相次ぐ地域に関して全くの無策で、高齢者の足を守る立場に立っていない。これでは「命と暮らしを脅かす」の予算と言わざるを得ない。

我が党が提案した修正案には、給付型奨学金の拡充や返済支援、生きがい奨励金の復活等があり、基金総額の1.5%、予算総額では0.08%の増額予算で、45万人の区民、事業者を応援することができるものである。

介護保険特別会計は、値下げに踏みきったことで賛成するが、所得の多くない課税者の保険料大幅値上げには歯止めをかけることを求める。

国民健康保険特別会計は、国は公費負担の増額を拒否し続けており、平均保険料は令和5年度と比較して1万3千157円の値上げ、均等割にいたっては5千500円の大幅値上げとなっており、到底賛成できない。

後期高齢者医療特別会計は、値上げをしない努力をしたことは認めるが、全体としては値上げとなったことは認められない。何よりも区民の命と暮らしを守る施策を最優先とすることを改めて強く求める。

## 足立区議会 日本維新の会

討論者



高田けんじろう  
委員

区は、令和6年度予算を「命と暮らしを守りぬく。安心と活力のあだち」と名付け、自然災害や物価高騰等の区民生活を脅かす不安を取り除き、全ての区民が安心を実感し、区全体が活力あるまちなることを目指して予算編成が行われた。

能登半島地震を受け、災害備蓄の当初増量予定からの積み増し、建築物耐震化促進事業の助成対象拡充等、区民の「命を守りぬく」ための予算措置を直ちに講じたことや、「福祉まるごと相談課」の創設や、デマンドタクシー実証実験等は、区民の「暮らしを守りぬく」ことを意識した区の新たな挑戦として大いに評価する。

また、本予算特別委員会では、公金の投入にあたっては最大限の結果を追求すべきとの強い思いに加え、組織の硬直化や閉塞感を打破し、優秀な区職員が萎縮せず能力を発揮できる、未来志向な区役所になることを望み、次のことを要望・提案した。

自主財源の確保、内部通報制度の適切な運用、事故・ミス事案の撲滅、選挙管理委員資格要件に関する議論から区のリーガルチェック体制整備、管理職の魅力向上、職員提案制度の導入、区民の災害備蓄や自意識の促進施策、災害用倉庫の実効性向上、高齢者入浴事業の再編、省エネ対策工場設備更新補助、インバウンド施策の構築・拡充、民泊の規制緩和、小規模事業者経営改善補助金や人材採用支援助成金の効果的運用、デマンドタクシー実証実験の成功に向けた施策、議会と若手職員の交流等である。

なお、介護保険特別会計は、23区で最も高い保険料からの脱却が示された一方、課税世帯の累進性が強化される形になった。税金は公平、公正に使われるべきであり、区政を実際に支えている層にも確実に届く施策を今後も展開するよう強く要望する。

## 足立区議会 立憲民主党

討論者



銀川 ゆい子  
委員

「命と暮らしを守りぬく。安心と活力のあだち」と名付けた令和6年度当初予算は、年頭に発生した能登半島地震を受けた自然災害に対する備えの見直しや防災・減災対策強化をはじめ、包括的相談支援「福祉まるごと相談課」の創設、持続可能な区民の移動手段を確保するバス事業者支援等、区民の命と暮らしを守りぬく区民の強い決意と覚悟を感じる予算編成となっており、令和6年度の予算額は10年連続で過去最大を更新することとなった。災害備蓄食料の増備蓄、コミュニティバス「はるかぜ」の運行経費負担、デマンドタクシーの実証実験、「すこやかプラザあだち」のオープン、介護保険サービス利用料の軽減、切れ目のない子ども・教育・若者支援、そして障がい児・者を支える助成額・手当の拡充等、区民の命と暮らしを守る事業に注力していることを評価する。

一方で、バス事業者支援については、路線の減便・廃止が続く前に対策を打つことを願っていたとともに、デマンドタクシーの実証実験がパンパン号のように交通不便地域の期待を裏切らないことを願う。

予算特別委員会では指摘した、夏休みの子ども体験活動無料化事業の拡大、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等学校現場支援の拡充、バス運転士への住居借り上げ支援、スマートバス停の導入、自転車事故減少対策をはじめとした事故防止のまちづくり、保護者や子どもへの産婦人科医による性に関する情報提供機会の設置、重度障がい者グループホームへの区独自補助制度の拡大とAED設置補助・配備、子ども室内遊び場の整備、細街路整備事業の強化、キャッシュレス還元事業の還元率30%、区道占用料未収対策等、今後の区政運営に反映するよう強く求める。

足立区議会 議会改革を全力で推し進める会

討論者



長谷川たかこ 委員

新型コロナウイルス感染症の位置付けが季節性インフルエンザと同じ5類となり、アフターコロナの状況となったが、能登半島地震により足立区の防災・減災対策を更に強化する必要性が生じた。災害備蓄の積み増しや建築物耐震化促進事業の助成対象拡充、物価高騰等に対する施策等も含め、令和6年度は「命と暮らしを守りぬく。安心と活力のあだち」と銘打った予算編成となった。

区民の安全と安心につながる防災・減災対策については大変評価する一方で、「福祉まるごと相談課」の新設については、今後、先進自治体の取り組みも検証しながら進めていくことを求める。

足立区は多様な人が集まる都市部という地の利からも、暮らしやすい・誰からも選ばれる足立区を目指し、多様性社会の構築に向け取り組み、本当に必要とするところに行き届いた新たな支援を構築し、実効性ある施策を展開することを求める。

本委員会での質疑をまとめて、次のことを指摘する。

医療的ケア児・在宅レスパイト事業(所得制限撤廃等)の拡充、医療的ケア児の学童保育・放課後デイ等の受け入れ、地域の訪問看護ステーションと提携した医療的ケアも可能な在宅型病児保育制度の設置や東部地域病院の病児保育室の拡充、LGBT当事者・家族支援、ペアレントメンター事業拡充、デマンドタクシー実証実験、いじめ対策、不登校支援、不登校未然防止事業、ユニバーサルデザインの教育から学校改革、ICT教育環境の充実、教員の働き方改革、足立区版ユニバーサルデザインの教育推進について。

都民ファーストの会 足立区議団

討論者



佐藤 あい 委員

中長期的な課題と喫緊の課題を限られた財源で対策を講じる必要がある中で、令和6年度は、「命と暮らしを守りぬく。安心と活力のあだち」をテーマに予算編成され、能登半島地震を踏まえた地域防災計画の見直し、建物の耐震性強化や災害備蓄の積み増し、「福祉まるごと相談課」の創設、デマンドタクシーの実証実験、「はるかぜ」の路線経費負担、出産費助成、小児インフルエンザ任意接種費用助成、HPVワクチン接種費用助成、夏休みの体験講座や施設利用料無料化等、こどもから高齢者まで幅広く区民へ寄り添った予算になっている。

なお、本委員会で質疑をした地域防災訓練の実施率及び参加率向上、避難所開設の実践的訓練の実施率向上と高齢者の単身避難について、避難所での防犯対策とマンナーの掲示及び避難所運営の手順書について、避難所の医師・看護師・心理士の巡回体制の構築、NPO等地域活動の更なる支援とげんき応援事業助成金について、学童保育室待機児童対策と育休中の申請・利用について、不登校児等の学童保育室登室許可の検討、高齢者見守り施策、終活支援構築、介護・保育人材確保施策の拡充、小学生のSNSセーフティ教室、教員の働き方改革、あだち放課後子ども教室の改善、不登校保護者支援、教育相談のオンライン化、小さく生まれた赤ちゃんを持つ親の会の対象拡大、切迫早産の家事支援、認証保育所による障がい児の受け入れ促進と更なる支援、子育て応援列車・子育て応援スペース設置、小・中学校の水泳指導とプール保有の方針検討、空き家対策、宅配ボックスの設置助成等、区政運営に反映するよう要望する。

令和6年度 各会計予算

Table with 6 columns: 区分, 令和6年度, 令和5年度, 増減額, 増減率. Rows include 一般会計, 国民健康保険特別会計, 介護保険特別会計, 後期高齢者医療特別会計.

予算特別委員会での審査と本会議での議決

令和6年度各会計予算案を審査する予算特別委員会を設置し、3月4日から12日までの間の6日間で審査を行いました。

委員会での質疑及び審査結果

令和6年度予算は、「命と暮らしを守りぬく。安心と活力のあだち」と銘打ち、新型コロナウイルス感染症の影響から日常生活を取り戻しつつある中で、自然災害や物価高騰等の区民生活を脅かす不安を取り除き、全ての区民が安心を実感し、区全体が活力あるまちになるためのものとしていきます。

本会議での議決結果

3月27日の本会議で、たがた直昭予算特別委員会委員長より報告がされた後、5議案を原案のとおり可決し、令和6年度予算が成立しました。

予算特別委員会の審査結果

※公明…足立区議会公明党 自民…足立区議会自由民主党 共産…日本共産党足立区議団 維新…日本維新の会足立区議団 立民…足立区議会立憲民主党 改革…足立区議会改革を全力で推し進める会 都ファ…都民ファーストの会足立区議団 無派…無会派 ※(正)…委員長 (副)…副委員長 ※○…賛成 ×…反対

Table with columns for 委員名, 審査結果, and various party members (公明, 自民, 共産, etc.) for different budget items.

能登半島地震被災自治体へ義援金を届けました

義援金の総額 1,075,570円 ※上記の金額は募金活動後に集まった額を含めた総額になります。



足立区議会は、令和6年1月12日に区内4力所(北千住駅・綾瀬駅・西新井駅・竹ノ塚駅)で募金活動を行いました。皆さまからお寄せいただいた義援金575,570円と各議員からの義援金300,000円を、議長はじめ、各会派代表者6名が、被災地の方々の生活支援の一助となるよう石川県東京事務所へ届けました。また、富山県首都圏本部、新潟県東京事務所には各議員からの義援金100,000円をそれぞれに届けました。



石川県東京事務所での義援金贈呈の様子

Table showing request status and decision status for information disclosure in the 5th year.

Table showing request status and decision status for information disclosure in the 5th year.

区議会からのお知らせ

令和6年1月23日付で異動がありました 川村みこと議員(日本維新の会足立区議団) → (無会派)

寄附行為の制限

議員(立候補予定等を含む。)が選挙区内にある者に対し、入学式等の行事に対し寄付・お祝い・差し入れ等をすることは、公職選挙法により、議員資格は毎々の罰則をもって禁止されています。